

こんにちは 婦人会です

数日前には空気がひんやりして傘を持つ手がかじかんで真冬の寒さでしたが、今朝の天気予報で、お天気お兄さんが「深まる秋に小春日和になりそうです」と解説していました。そんな小春日和とは、旧暦の十月の異称で、晩秋から初冬にかけて移動性の高気圧に覆われて穏やかな日のことを言うそうです。春とついているため勘違いしてしまいそうですが冬の季語なのです。小春日和といえども「秋の日はつるべ落とし」です。朝晩めっきり冷え込むようになりましたので健康管理にはくれぐれもお気をつけくださいね。



～婦人会・暮らしのエッセンス～

先日、出先で綺麗に着飾った女の子を連れて七五三参りをすませた家族に出会いました。そこで～ 例のごとく調べてみました。古来の七五三の形は、「髪置き」(2～3 歳の間におこなわれ髪を伸ばし始める儀式)、「袴儀」(3～7 歳までの子供が初めて袴をつける儀式)、「紐落とし」「帯解き」(5～9 歳までの間に、それまで着物を留めるのに使っていた紐を帯に変える儀式)と呼ばれ各地各様に男女とも行われていたそうです。七五三は子供の成長を祝い、また子供に持たせる千歳飴には、子供の成長と、長生きをするようにという願いが込められているようです。子供が大きくなり忘れていた光景でしたが、そういえば我が家も明治神宮へ行ったような・・・



桜台婦人会 第95号
平成21年11月26日